

jura

X8

ユーザーマニュアル



お客様へ

この度は、弊社の全自動エスプレッソコーヒーマシン「X8」をご購入いただき、誠にありがとうございます。マシンを安全に正しくお使いいただけるように、ご使用前にこのマニュアルをお読みになり、内容を十分ご理解ください。このマニュアルは安全な場所に保管して、必要な時に見ることが出来る状態にしておいてください。このマニュアルの不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、マニュアルに記載してある連絡先にお問い合わせください。

ブルーマチックジャパン株式会社

目次

安全上のご注意	3
各部の名称	6
付属品	7
ご使用の準備（はじめてお使いになる際に）	8
抽出前のご使用準備	9
メニュー抽出	10
デイリーの清掃（カス箱、ドリフトレイ）	11
コーヒーシステムの洗浄（タブレットクリーニング）	13
ミルクシステムの洗浄（ミルクチューブクリーニング）	15
ミルク抽出口の分解洗浄	16
立下げ作業（クロージング）	17
クラリススマートフィルターの定期的な交換	17
プログラミングモード	18
メニューの調整	19
メッセージ表示	21
故障かなと思ったら	22
主な仕様	23
保証とアフターサービスについて	26

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です。必ずお読みください。)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品(電源コードやプラグも含む)の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかす等が無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行なってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。

- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水やコーヒー豆、コーヒーかす等を全て取り出し、洗浄を行ってください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときは、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをオフにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用しないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

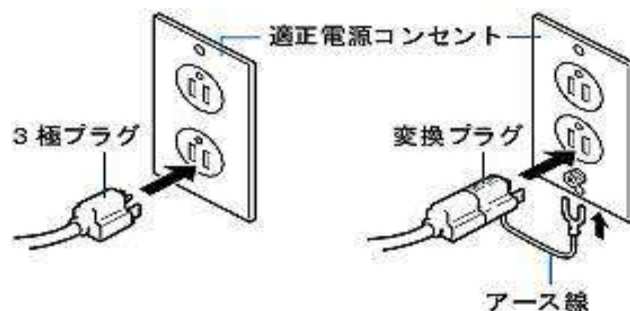
設置および据付時の注意事項

本製品は、使用および保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



警告

- 使用する電源は定格 15A(100V)の壁コンセントを単独で使用してください。ゆるんだコンセント、延長コードまたはタコ足配線は使用しないでください。
- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。
- 漏電遮断機の設置をお願いします



注意

- 設置および据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚濁、変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は 10～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- お湯ではなく必ず水を使用してください。水以外の飲料やミネラルウォーター類、純水は使用しないでください。
- 浄水器(クラリス・プロ・ブルー)は定期的に交換してください。

警告

操作を行なう時の注意事項

- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの位置に注意をしてください。離れすぎている場合、飛沫やスチームが周辺に飛び、火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないでください。感電の危険性があります。
- コーヒーマシンが作動中にホッパーの中に手を入れしないでください。怪我の原因になります。
- ミルクシステムの洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくともミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。

注意

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスター等の食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出中は、コーヒーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- コーヒー豆用ホッパーは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておくとも雑菌が繁殖することがあります。
- ホッパー内にコーヒー豆が入っている状態でホッパーを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとホッパーが破損します。
- 前面パネルのクリアー部分(アクリル製)にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

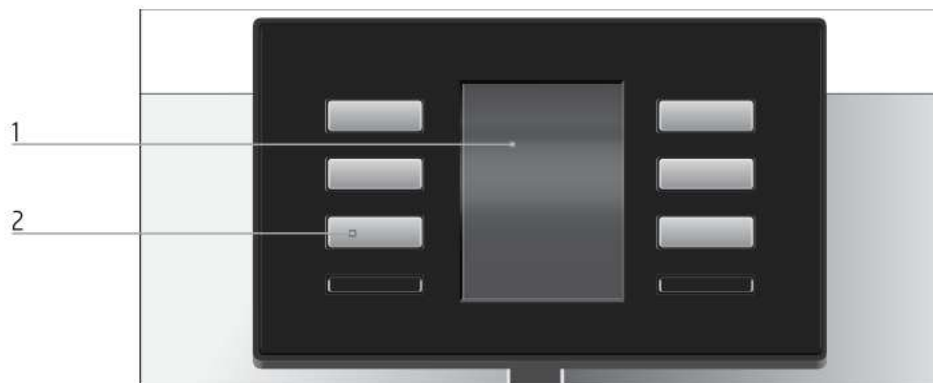
- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンスおよび安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0 度以下になる室内外に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

各部の名称

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 トップカバー | 8 コーヒーカス容器 |
| 2 洗浄タブレット投入口 | 9 電源スイッチ |
| 3 コーヒー豆容器、および、豆容器フタ | 10 挽き目調整ツマミ |
| 4 水タンクカバー | 11 コーヒー抽出ノズル |
| 5 水タンク(容量5L) | 12 インナードリップトレイ |
| 6 給湯ノズル | 13 カップ置き |
| 7 電源ケーブル
(マシン背面下部) | 14 排水トレイ (容量約 1600cc) |



各部の説明



1 ディスプレイ

2 マルチ機能ボタン(メニューボタン、機能ボタン)

※ディスプレイに表示されている内容によりボタンの機能は異なります。

付属品

名称	個数
電源コード 接地タップ	1
クラリスプロスマートフィルター	1
ミルク用吸気口	1
ミルク抽出口	2
シリコンチューブ 3x1.5x500 mm	2
ミルククリーン用容器	1
清掃ブラシセット(4 本組)	1
ミルクチューブクリーナー (200mlサンプル)	1
コーヒーマシンクリーナー (20 錠サンプル)	1
専用ツール 水タンクカバーとグラインダー 挽き目調整用	1
ユーザーマニュアル	1

ご使用の準備(はじめてお使いになる際に)

1. マシンの置き場所

- ① マシンは、水平で、水に濡れても問題のない所を指定して設置ください。
- ② マシンは、オーバーヒートを防ぐために涼しい所に設置した上で、マシン上面の換気システムをふさがないように注意してください。

2. はじめてお使いになるときは、画面の案内にしたがって初期設定をおこないます。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。必ずアース接続してください。
アースコンセントがない場合は、現在ご使用中の電化製品(エアコン・冷蔵庫・電子レンジなど)のアースコンセントに共用接続してください。また、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線とは共用接続しないでください。 **※交流 100V 定格 15A の電源を単独使用し、それ以外の電源では使用しない。**
- ② 電源ボタンを押します。

【設置場所 水の硬度の設定を行ってください。】 ※付属の試験紙で硬度を確認し、設定します。

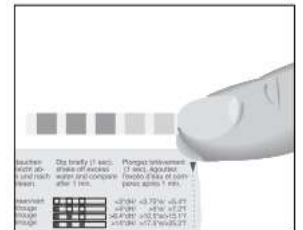
° dH 硬度は付属のテスターを使って確認してください。

＜硬度の確認方法＞

- ①.付属テスターを袋から取り出し、蛇口から出る水道水に約 1 秒間さらします。
- ②.水気を切り、その後 1 分間放置します。
- ③.テスターの色が変わっている数をテスターの袋に記載されている硬度表と照合し、硬度を設定します。

＜硬度の設定方法＞

- ①.18 ページを参照してください。P ボタンを押し、プログラムモードに入ります。
- ②.プログラム項目 4/5 にしていただき『水の硬度』を選択します。
- ③.上記で水の硬度を確認した数値に増減させ『保存』ボタンを押してください。
数値の増減はメニュー画面の「< >」で変更します。
- ④. 終了するには、「↑」ボタンを押してください。



3. クラリスプロスマートフィルター初めての使用

- ① 給湯ノズルの下に容器を置きます。(少なくとも 300ml 以上の容器)
- ② 水タンクを外し、水で洗ってください。(お湯は使用しないでください。)
- ③ フィルターホルダーを開きます。
- ④ 水タンクにフィルターカートリッジを挿入し、フィルターホルダーを閉めてください。(閉める場合、通常、クリック感があります。)
- ⑤ 水タンクにきれいな水を入れて、タンクを再セットしてください。
- ⑥ 水タンクカバーを閉めてください。
- ⑦ フィルターを取り付けたタンクをセットした直後にマシンは自動的にフィルター検出され、保存しましたと表示されます。
- ⑧ フィルターすすぎが始まり、水が直接排水トレイに流れます。
- ⑨ フィルタのすすぎは、自動的に停止します
- ⑩ 'システム内に水を供給中'が表示されマシンに水が充填されます。
- ⑪ 自動的に停止し、フィルターのすすぎが完了。容器にたまった水を捨て、メニュー画面が表示されたら準備完了です。



4. コーヒー豆の補給

コーヒー豆容器には、香りを逃がさないためのフタが付いており、コーヒーのアロマを永く保ちます。

- ① 豆容器蓋を開けます。 ※容器蓋をロックしている場合は専用ツールを使いロックを解除してください。
- ② コーヒー豆容器に異物がないか、確認してください。
- ③ コーヒー豆を入れてフタをしっかりと閉めてください。

※蓋を閉める時は蓋の奥側に突起が有りますので、奥から挿入して蓋をします。



☝ コーヒー豆容器には、粉コーヒーやフリーズド・ドライコーヒー、水、コーヒーマシンクリーナーを入れないでください。グラインダーの故障につながります。

5. グラインダーのコーヒー挽き目の設定

➤ 抽出するコーヒーがスムーズに抽出されるように挽き目を調整してください。

注意： 1、グラインダーが停止中に調整した場合、挽き目調整ツマミが破損する恐れがあります。

グラインダーが作動中のときのみ挽き目の調整を行ってください。

2、コーヒーがポタポタとしか抽出しない場合は挽き目が細かいことが考えられます。

挽き目を粗い方向に設定してください。

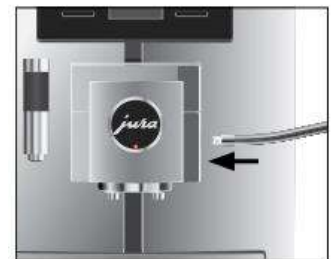
○ グラインダーの挽き目調整方法。

- ① トップカバーを開けると挽き目調整ダイヤルがあります
 - ② 専用ツールを挽き目調整ダイヤルに差し込む。
 - ③ コーヒー抽出口の下にカップを置きます。
 - ④ 「エスプレッソ」または「コーヒー」ボタンを押して抽出する。
 - ⑤ グラインダーが動いている間にツマミを 1 段階動かします。
 - ⑥ 抽出完了後に再度同じボタンを押して抽出の状態を確認します。
 - ⑦ スムーズな抽出が行えれば調整ツマミのカバーを閉じます。
- 改善されなければ、ツマミを 1 段階粗く (●の大きい方へ)して再度抽出します。



6. ミルク接続

ミルクチューブをミルク抽出ノズルの右側にある吸い込み口に接続し、ミルクチューブ先端をミルククーラー内のミルク容器へ差し込んでください。



抽出前のご使用準備

1. 水タンクに水を入れてください。
2. カップをコーヒー抽出の下に用意してください。
3. 本体の電源ボタンを押します。
4. ディスプレイに「加熱しています。」表示が出ます。
5. 「マシンをすすぎます。」表示がされてリンスが開始されます。
6. 自動的にリンス停止して使用する準備が出来ます。



メニュー抽出

1. メニューボタン
複数のメニュー商品をディスプレイ上でみることができます。
※「メニューを選んでください:」が表示されている時に行なってください。

- コーヒー抽出の例

1. コーヒー1杯

- ① 抽出ノズルの下にカップを置いて、「コーヒー」ボタンを押してください。
- ② 「コーヒー」が表示されカップに注がれ、設定された量になると自動的に止まります。

抽出が完了すると再び「メニューを選んでください:」が表示されます。



2. コーヒー2杯

- ① 抽出ノズルの下に2つのカップを置きます。
- ② 「コーヒー」ボタンを2回(約1秒以内)押してください。
- ③ カップに注がれ、設定された量になると自動的に止まります。



- ミルクメニュー抽出の例

カプチーノ

- ④ ミルク抽出ノズルにミルクチューブをセットし、チューブをミルクに差し込みます。
- ⑤ ミルク抽出/コーヒー抽出ノズルの下にカップを置きます。
- ⑥ 「カプチーノ」ボタンを押してください。
- ⑦ マシンの加熱が終わるとミルクが吸われノズルからフォームドミルクが出ます。
- ⑧ 自動的にエスプレッソ抽出が開始され設定量になると自動的に止まります。

注: ミルクシステムは毎日洗浄しなければなりません。



- お湯の抽出

注意お湯は火傷の危険性があります。皮膚への直接的な接触は避けてください。

- ① カップを給湯ノズルの下に置いてください。
- ② 熱湯ボタンを押してください。
- ③ 給湯ノズルからお湯が出て設定量に達すると抽出が止まります。



- メニュー抽出の停止(キャンセル)

間違ってメニューボタンを押した場合は、ディスプレイに「キャンセル」の表示が出ている時に**左下のボタン**を押すと、抽出の停止が出来ます。

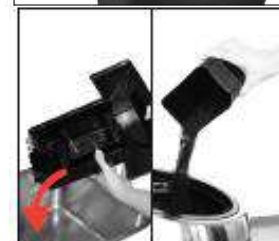


デイリーの清掃(カス容器、トレイユニット)

- コーヒーを抽出した後は、ブルーイングユニットが汚れます。特にミルクを使用したコーヒーを抽出した時には、ミルクの吸引チューブ、および、ミルク抽出口に汚れが付着します。
- マシンのトラブル発生(抽出詰まりやミルクの泡立ちが悪い等)を減少させる対策として、毎日のマシン清掃が不可欠です。清掃作業を行うことで、常にマシン状態を良好に保ち、安定したコーヒーを抽出できます。

1. コーヒーカス容器、排水トレイの清掃

【カス容器を空にしてください】、【排水トレイを空にしてください】が表示された時やクリーニングを行なう際に清掃をしてください。



- ① 排水トレイを少し上に上げながら引き出してください。
- ② コーヒーカス容器と排水トレイを空にして、ぬるま湯で洗ってください。
- ③ 排水トレイの奥にある小さな金属板はセンサーです。金属版の表面縦の面だけではなく、折り曲げられた裏の面を乾いた布できれいに拭いてください。金属版と金属版の間に汚れやゴミがある場合はブラッシング等で汚れをかき出してください。

- ④ コーヒーカス容器と排水トレイを元にセットしてください。

2. コーヒーすすぎ(コーヒー経路の簡易すすぎ) 【所要時間 約 30 秒】

いつでも手動でコーヒー抽出口の簡易すすぎ(ショートリンス)を行なうことができます。

- ① コーヒー抽出ノズル下に容器を置きます。
- ② 「 P.☼ 」 ボタンを押します。
- ③ 「 > 」を押す。‘2/5’
- ④ 「**コーヒーすすぎ**」を押してリンスを開始する。
- ⑤ ‘**マシンをすすぎます**’ が表示されコーヒー抽出ノズルからお湯が出ます。
- ⑥ すすぎ工程が完了すると自動的に停止し、メニュー画面に戻ります。



3. ミルクすすぎ 【所要時間 約 45 秒】

いつでも手動でミルク抽出口のすすぎ(ショートリンス)を行なうことができます。

また、ミルクメニュー抽出後しばらくして‘**ミルクすすぎ**’が表示されたらリンスを行ってください。

- ① ミルク抽出ノズル下に容器を置きます。
- ② 「 P.☼ 」 ボタンを押します(‘**ミルクすすぎ**’が表示されている場合は⑤に進む)
- ③ 「 > 」を押す。‘2/5’
- ④ 「**ミルクすすぎ**」を押してリンスを開始する。
- ⑤ ‘**ミルクシステムをすすぎます**’ が表示されミルクノズルからお湯が出ます。
- ⑥ すすぎ工程が完了すると自動的に停止し、メニュー画面に戻ります。



- ◆ 180 杯の抽出または 80 回のリンスした後、ディスプレイに‘マシンを洗浄してください’が表示されます。
- ◆ ‘マシンを洗浄してください’が表示される前に定期的なデイリークリーニングをお勧めします。
- 🔧 もし、間違った洗浄剤を用いるとマシンに悪い影響を与える恐れがあります。
ブルーマチックジャパン指定のマシנקリーナーをご使用ください。
- 🔧 洗浄プログラムは、約 20 分を要します。
- 🔧 マシン洗浄プログラムを中断しないでください。洗浄の品質が保てなくなります。

マシンの画面に表示される手順に沿って、洗浄を進めてください！

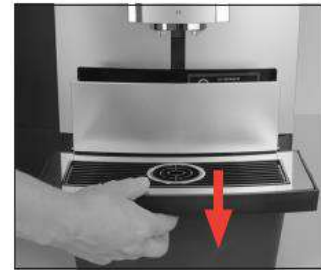
1 メニュー画面の『P』を選択し、表示が切り替わります。『マシン洗浄』を押してください。



2 画面の案内に従って、右下の『スタート』を選択した後、『進む』を選択します。



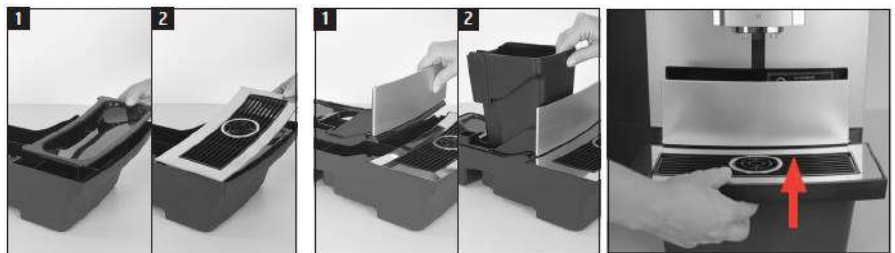
3 画面に『カス容器を空にしてください』と表示されたら、排水トレイを引き出します。



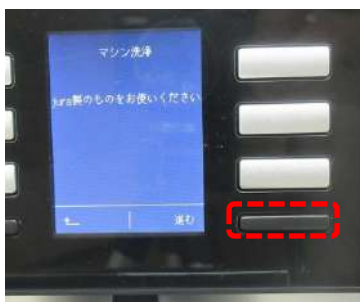
4 排水とカス受け容器を空にする



5 排水トレイユニットを組み立て、カス受け容器を入れ、トレイユニットを本体に戻します。



6 右下の『進む』を選択します



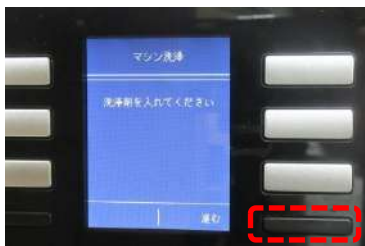
7 『洗浄剤を入れてください』と表示されたら本体後部のクリーニング剤投入口からマシנקリーナー1錠を投入し、投入口を閉めます。

※コーヒーマシנקリーナーは専用のものを使用してください。



次ページに続きます。

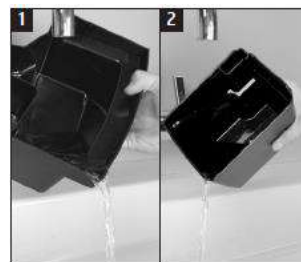
8 右下の『進む』を選択します。
クリーニングが再開し、10分程
作動します。



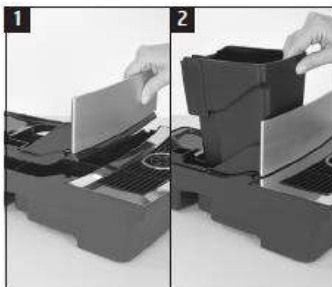
9 画面に『カス容器を空にしてくだ
さい』と表示されたら排水トレイユニ
ットを引き出してください。



10 カス受け容器と排水トレイを
空にし、良く洗ってください。



11 排水トレイユニットを組み立て、トレイユニットを本体に戻します。
画面に『クリーニングが完了しました』と表示され、マシン洗淨は完了
です。



【毎日のお手入れ】 ミルクシステムの洗浄(ミルクチューブクリーニング) 所要時間約 2分

🔔 ミルクを使用しない場合は、この清掃は不要です。

- ミルクを使用したコーヒーを抽出した時には、ミルクの吸引チューブから抽出口までが汚れます。そのため、ミルクチューブ内側やミルクシステムの内側に残った油脂をきれいに洗います。
- マシンのトラブル発生(抽出詰まりやミルクの泡立ちが悪い等)を減少させる対策の一つとして、**毎日のマシン清掃が不可欠です。**清掃作業を行うことで、常にマシン状態を良好に保ち、安定したミルクフォームを抽出できます。
- 部品の洗浄に食器洗浄機を使用しないでください。熱でゆがみが生じ、故障する場合があります。

マシンの画面に表示される手順に沿って、洗浄を進めてください！

※ ミルクチューブクリーナーは専用のものを、清掃ブラシは付属のものを使用してください。

1 ミルククリーニング容器(付属品)に 30ml のミルクチューブクリーナーを入れます。

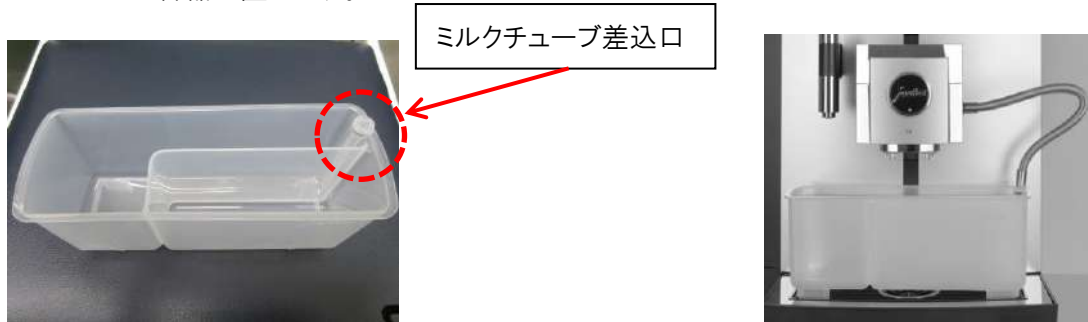
クリーナー容器を軽く押すと左側の目盛付小容器に入ります。

※クリーナー初回サンプル容器は 20ml+10ml の小分けで入れる。

点線枠内にチューブクリーナーを入れます。



2 ミルククリーニング容器の吸い込み口にミルクチューブを差込み、ミルク抽出口の下にミルククリーニング容器を置きます。




3 メニュー画面の『P』を選択します



4 『ミルククリーニング』を選択します。画面の案内に従って『スタート』を選択した後、進むを 3 回押します。

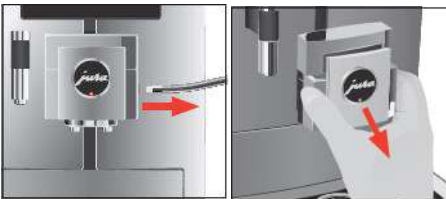
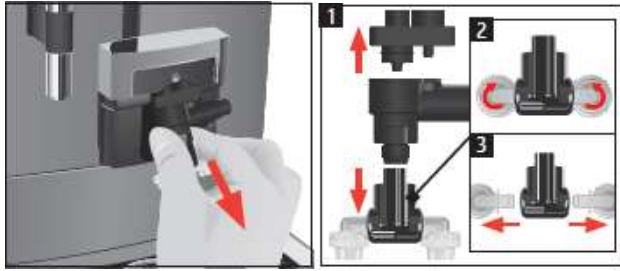

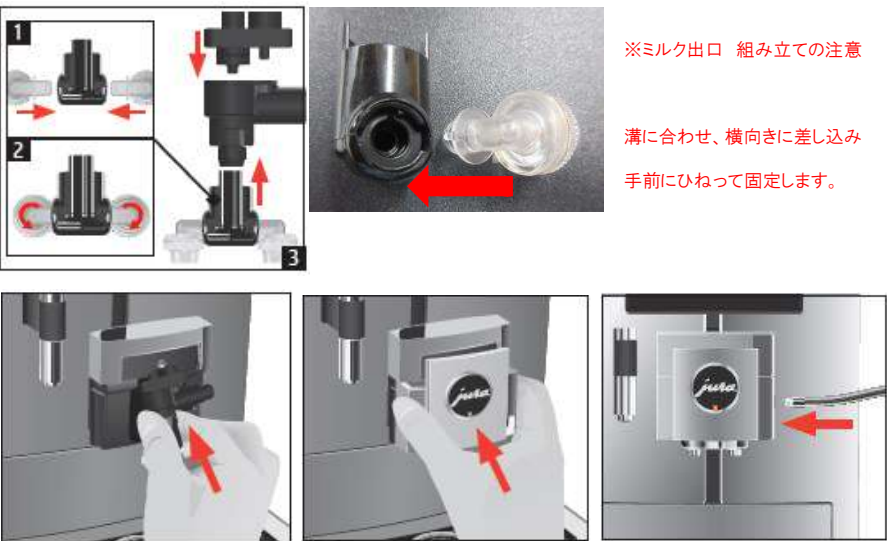


次ページに続きます。

<p>5 画面に『ミルク洗浄中』と表示が変わります。</p> <p>マシンは洗浄溶液をつくるため、ミルククリーニング容器に希釈水が入ります。</p>	<p>6 次にマシンは自動で洗浄溶液を吸い上げ、ミルク抽出口より排出を繰り返し、ミルク経路を洗浄します。</p>	<p>7 洗浄工程が完了すると、下の画面が表示され、マシンは自動的にメニュー選択画面に戻ります。</p>  <p>クリーニング容器に排出された廃液を捨てます。</p>
--	--	--

【毎日のお手入れ】 ミルク抽出口の分解洗浄

- 🔧 ミルクを使用しない場合は、この清掃は不要です。
- 🔧 注意： 食器洗浄機、乾燥機は、破損・変形の原因となるので使用しないでください。

<p>1 本体からミルクチューブを外し、抽出カバーを外します。</p> 	<p>2 本体よりミルク抽出口を外し、4 つに分解します。</p>  <p>ミルク出口先端は後ろ側にひねり横へ引き抜きます。</p>
<p>3 それぞれの部品を付属の清掃ブラシでブラッシングしながら流水ですすぎます。</p> 	<p>4 洗浄後、ミルク抽出口を組み立て、本体に取り付けます。ミルクチューブを差込み、分解洗浄は完了です。</p>  <p>※ミルク出口 組み立ての注意 溝に合わせ、横向きに差し込み手前にひねって固定します。</p>

※ミルク抽出口の汚れがひどい場合は：

ミルクチューブクリーナー(15ml)、水(150ml)の洗浄溶液を入れた容器に分解したミルク抽出口を約 10 分間浸け置きします。その後ブラッシングしながら流水ですすいでください。

立下げ作業(クロージング)

- ◆ マシンの電源を切る前に 11 ページから 16 ページの毎日のお手入れを行ってください。

電源 OFF

電源 OFF した時に、もし洗浄作業をしていなければ自動的にショートリンスが入りマシンの電源が切れます。

クラリスプロスマートフィルターの定期的な交換

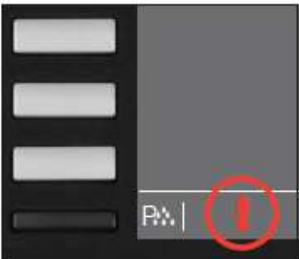

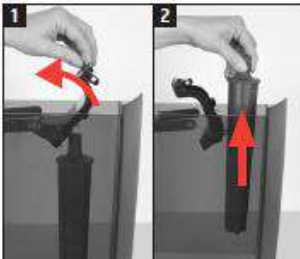
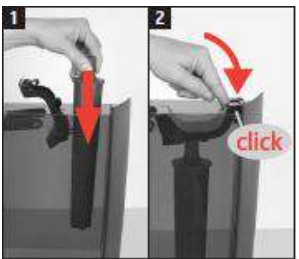
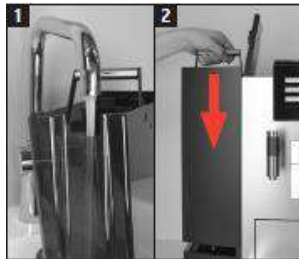
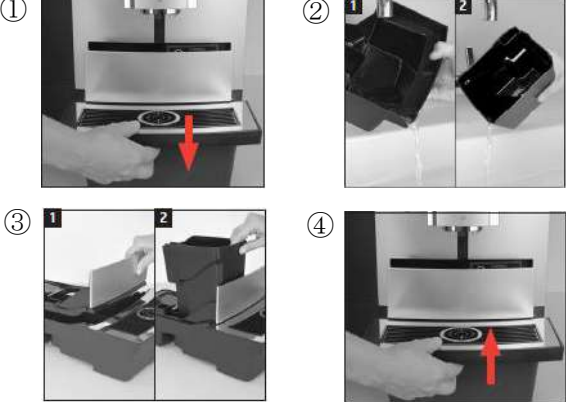
所要時間約 10 分

フィルター(浄軟水器)交換

- 🔔 マシンは自動的にクラリススマートフィルターの交換を促します。
これは設置場所の水の水質(硬度)によって異なり、予め設定された水の硬度によって変わります。



交換時期に到達しますとフィルターシンボルがディスプレイの下部に赤く点灯します。

<p>1 フィルターマークが赤く点灯します。</p> 	<p>2 給水タンクを取り外し水を捨ててください。</p> 	<p>3 クラリスフィルターを外します。</p> 	<p>4 新しいフィルターを取り付けます。</p> <p>※専用のクラリススマートプロフィルター</p> 
<p>5 給水タンクに MAX のラインまで水を入れた後、本体に取り付けます。</p> 	<p>6 マシンはフィルターを認識します。</p> <p>自動でフィルターのすすぎがスタートし、給湯ノズルよりお湯が出ます。</p> <p>※注意: 火傷に注意してください。</p>	<p>7 画面に【排水トレイを空にしてください】と表示が出ましたら排水トレイユニットにたまった水を捨て、すすいだ後、排水トレイを本体に戻す。</p> 	

プログラミングモード

プログラミングモードを入力するために「P_☼」ボタンを押してください。
マシンはプログラミングモードとなります。



プログラムモード ページ	項目	Explanation
1/5	マシン洗浄	タブレットクリーニング(コーヒー抽出経路)
	CA 除去	スケール除去モード(フィルター未設定の時使用)
	ミルククリーニング	ミルクシステムクリーニング(ミルク経路)
2/5	ミルクすすぎ	ミルク抽出口リンス
	情報	おすすめのメンテナンス情報を表示します。
	コーヒーすすぎ	コーヒー抽出口ショートリンス
3/5	エキスパートモード	メニューの調整モード
	抽出量の手動調節	長押し調整モードの機能を有効/無効する
	抽出中の量変更	抽出作動中の一回限りの設定を有効/無効する
	ロック有効	各メニューを有効または無効にします。
4/5	言語の選択	言語設定.
	単位標記	[ml] または [OZ] 表示の切り替え
	ミルクすすぎ	
	オフまでの時間	抽出後使用しない場合、設定時間後に自動的にオフになります。15 分、30 分、1-9 時間。
	水の硬度	硬度設定(フィルター未設定の時)1 °dH and 30 °dH.
5/5	合計抽出杯数	トータル、各メニューの抽出サイクルカウンター(リセット不可)
	日毎抽出杯数	トータル、各メニューの抽出サイクルカウンター(リセット可)
	アクセサリ接続	将来的に機器に互換性のあるオプション機能を接続する場合に使用します。 ※現在は接続可能な機能はございません。
	お手入れ回数	クリーニング関連のカウンター
	バージョン	マシンのバージョン
	アクセサリ解除	機器に互換性のあるオプション機能を解除します。

➤ メニューの調整

1. エキスパートモード

メニューの調整は 3/5 プログラム項目では「エキスパートモード」内で設定を行うことができます。

プログラミングモードを終了するには、「↑」ボタンを押してください。

【各メニューの設定項目の範囲】

メニュー名	コーヒー濃度	設定範囲	温度設定
リストレット/エスプレッソ	10 段階	湯量: 15 ml – 80 ml	中 – 高
コーヒー/スペシャル	10 段階	湯量: 25 ml – 240 ml	中 – 高
カプチーノ, カフェラテ フラットホワイト	10 段階	湯量: 25 ml – 240 ml フォーム量(泡立ちミルク): 抽出時間 0 sec. – 120 sec ミルク量(温かいミルク): 抽出時間 0 sec. – 120 sec	フォーム温度: 1-10 段階 ※ ミルク温度: 1-10 段階 ※
ラテマキアート	10 段階	湯量: 25 ml – 240 ml フォーム量: 0 sec. – 120 sec ミルク量: 0 sec. – 120 sec ポーズ(間欠): 0 sec. – 60 sec.	フォーム温度: 1-10 段階 ※ ミルク温度: 1-10 段階 ※
ミルク		フォーム量: 0 sec. – 120 sec ミルク量: 0 sec. – 120 sec	フォーム温度: 1-10 段階 ※ ミルク温度: 1-10 段階 ※
ポットコーヒー	10 段階	25 ml - 240 ml ストローク(繰り返し抽出): 1 – 5 回	中 – 高
熱湯/熱湯(お茶用)	–	湯量: 25 ml – 450 ml	低 – 中 – 高

※ ミルク及びフォーム温度は、使用する牛乳によって異なりますので、予め調整が必要です。
数値が高いと温度は上がりますが、気泡は粗く抽出する事やミルクを吸い上げない場合がございます。

1-1 メニューボタン 位置の変更

各メニューボタンの調整項目には『位置』という項目があります。

ここでは画面に表記するメニューの位置が変更出来ます。

1. メニューボタンの設定項目 『位置』を押す。
2. 変更したい位置 1・2 ページから選択し、OK であれば『はい』を選択します。
変更しない場合は左下の「↑」ボタンを押すと、キャンセルとなります。



2. 簡易調整モード

メニューの内容により抽出しているメニューの設定を一時的に変更する事が出来ます。

※この変更は記憶されません。

例:コーヒー の場合 コーヒー濃度(粉量) 、 コーヒー湯量

メニュー抽出中のディスプレイに「 < > 」の表示がします。

その時に「 < 」ボタン または「 > 」ボタンを押す事で量の増減が可能です。

※簡易的な調整モードのため、規定の調整が必要な場合はプログラミング項目内の

[エキスパートモード]で設定を行います。

ディスプレイ表示例

コーヒー粉量を調整



コーヒー抽出量を調整



ディスプレイに「 < > 」の表示中にその<>横のボタンを押すと増減します。

3. ロック有効 (メニュー表記させない)機能


この項目はメニュー画面で表示させないボタンを選択できます。

1. 「 P」ボタンを押してください。
2. プログラムメニューページ 3/5 にします。
3. ロック有効ボタンを押す。
4. 表示させるメニューは緑色、 表示させないメニューは赤色となります。
5. 終了または変更しない場合は左下の「 ↑ 」ボタンを押すと、キャンセルとなります。

※例 メニュー表示のコーヒーを非表示にする。



メッセージ表示（オペレーション上のアラート）

メッセージ	原因	アクション
水タンクに水を入れてください	水タンクが空になっています。 水タンクがきちんとセットされていません。 ※メニュー商品を抽出できません。	水タンクに水を補充する。 水タンクの取り付けを確認ください。
カス容器を空にしてください	カス箱が満杯です。 ※メニュー商品を抽出できません。	カス箱と排水トレイを空にしてください。
排水トレイを挿入してください	排水トレイがセットされていないか、または、正常にセットされていません。	排水トレイをセットしてください。
豆容器が空です。	豆容器が空です。コーヒーを抽出することができません。 ※お湯、または、ミルクは提供できます。	豆を補充してください。
ミルクシステムすぎ	ミルク洗浄を促しています。	リンスを行ってください。 (P12参照)。
フィルターシンボルがディスプレイの下部に赤く点灯。 	クラリスプロスマートフィルターの交換時期を表しています。予め設定した使用水量に達しています。交換時期	クラリスプロスマートフィルターを交換
マシンを洗浄してください。	マシン洗浄を促しています。	タブレットクリーニングを行ってください。
CA 除去をしてください。	カルキ除去を促しています。	ブルーマチックジャパンへお問い合わせください。
適温になるまでお待ちください	マシンの加熱しすぎです。	電源を OFF にして内部の過熱ヒーターブロック冷えるまで数分間待ちます。再度、電源を ON にします。
排水トレイを空にしてください。	排水トレイが満杯です。（約 1600cc） ※メニュー商品を抽出できません。	排水トレイを空にしてください。

※上記以外のメッセージが表示された時には、ブルーマチックジャパンコールセンターへご連絡ください。

故障かなと思ったら

事象	原因	アクション
ミルクフォームの泡立ちが悪い、または、ミルクが泡立たない	ミルク抽出口(フォームフローサー)が汚れています。	ミルクシステムの洗浄を実施し、ミルクシステムの分解洗浄を実施してください。
コーヒー濃度が不適切になった。	コーヒー豆の挽き目が細かすぎる。この様な場合、グラインダー自体にも負荷がかかり、マシン動作が止まる恐れがあります。 また、同じフィルターカートリッジを数回使われ、カルキが蓄積した可能性があります。	グラインダー設定を粗めに再設定して使用してください。(P.9) カルキ除去を行なってください。
メニュー抽出が途中で止まり、豆容器が満杯にも係わらず、「豆容器に豆を入れてください」が一旦表示される。	豆容器内に異物や汚れで豆の流れが滞留していないか確認してください。	豆容器蓋を開けて、異物が有れば取り除き、油脂の付着による滞留があれば攪拌してください。
「排水トレイを空にしてください」が常に表示される。	排水トレイの金属コンタクト部分が汚れているか、濡れています。	排水トレイの金属コンタクト部分をきれいに洗い、金属部分の間を含めて乾いた布でよく拭いてください。
「Error 2」または「Error 5」が表示される。	マシンは安全上の理由からヒーティング電源を止めることがあります。寒冷地などの低温地帯において、もし、マシンが長時間に亘って冷たい状態にさらされた場合。	電源を入れ直してください。 寒冷地ではマシンを室温まで戻してください。 注：室温が零度以下になる場合、必ず水を抜いてください。詳細はブルーマチックジャパンコールセンターへお問い合わせください。
他のエラーメッセージが表示される。	—	マシン主電源を切り、弊社ブルーマチックジャパンコールセンターへお問い合わせください。

主な仕様

電源電圧	100V AC (50/60Hz)
消費電力	1250W
動作周囲温度	10℃～35℃
// 湿度	80%以下
ポンプ圧力	最大15bar(静的圧力)
水タンク容量	5 リットル
コーヒー豆用コンテナ容量	約 500g
コーヒー豆挽きカス容量	約 40 杯分(max)
電源ケーブル長	約 1.2m
重量	約 14.0kg
サイズ(W × H × D)	37.3 × 47 × 46.1 cm

本製品は総務省の型式指定を受けた RFID を内蔵しています

(注) 凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を必ず抜いてください。

【簡易水抜き方法】

1	メニュー画面の「 P.❖ 」ボタンを押してください。
2	プログラムメニューページ 2/5 にします。
3	『ミルクすすぎ』を選択してください。ミルク経路すすぎが行われます。
4	熱湯ボタンを押し、熱湯を抽出します。 ボタンを押した後、給水タンクを取り外し、タンク内の水を空にして再セットします。
5	画面に『システム内に水を供給中』と表示しますがそのまま待ちます。 次に『水タンクに水を入れてください』の表示が出ます。
6	電現ボタンを押し、マシンを OFF にします。

<< メモ >>

<< メモ >>

保証とアフターサービスについて

保障とアフターサービス

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱書の内容をお確かめ頂き、不具合が直らない時は電源プラグを抜いてから当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理致します。当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談ください。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 X8 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の症状、状況(出来るだけ詳しく) |

修理相談窓口 ブルーマチックジャパン株式会社 コールセンター:(045)947-0804

受付時間 : 365日 24時間 ※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、コーヒー系統、ミルク系統、抽出口の洗浄をそれぞれ適切に行なってください。

一日の営業開始前及び終了後は取扱説明書に従い自動洗浄を行ってください。

ミルク系統の洗浄には、専用のミルククリーナーを使って洗浄を行なってください。

ミルククリーナー(液体)を使用するときには直接手や肌に接触しないようにして下さい。

コーヒー系統の洗浄には専用のコーヒーマシンクリーナーを使って洗浄を行なってください。

洗浄剤は小さなお子様の手に触れない場所に保管して下さい。

着脱式給水タンクの水は毎日必ず取り替えてください。

必ず冷たい新鮮な硬度の低い水道水をお使い下さい。

また、ミネラル成分の多い水を使うとマシン内部にスケールが発生しマシンの性能を損なう恐れがあります。

タンクには熱湯やミルクなど水以外のものを入れないで下さい。

給水タンクを本体につけたまま給水を行なう時には本体のほかの部分に水がこぼれたりかかたりしないようにして下さい。

マシンの清掃は内部に雑菌が繁殖しないよう取扱説明書にしたがい定期的に行なってください。

使用中に、取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちに弊社へご連絡下さい。

コーヒーマシン 保証書

型 名	ユラ社製 コーヒーマシン X8
製 品 番 号	11970
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げの日より1年間
お 買 上 げ 日	年 月 日
お 客 様 お 名 前	
ご 住 所	
電 話 番 号	

無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせて頂く事をお約束するものです。

- 1 取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保証期間内に万一故障をした場合には故障個所の無料修理を行います。
- 2 保証期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。
- 3 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 使用上の誤り、取扱説明書に記載してある通りの使用をしなかった場合。
- (2) 取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠った事が原因で発生した故障および損傷。
- (3) 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障および損傷。
- (4) 販売店以外で修理、改造などを行ったことが原因で発生した故障および損傷。
- (5) 消耗品、付属品等の消耗による交換および交換作業。
- (6) 火災・水害・地震などの天災地変・塩害・公害・異常電圧・過電流など外部要因による故障および損傷。
- (7) 落下・転倒・水漏れ・打撲・本体内部の基盤が破損・変形したことなどによる故障および損傷。
- (8) 車両などに搭載して使用をしたり移動後に発生した故障および損傷。
- (9) 保証書の提示が無い場合および保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。
- (10) 保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。

4 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

5 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合には当社にお問い合わせください。

※保証期間は、お買い上げの日より1年間を過ぎた場合は無効となります。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

輸入代理店

ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

大阪(営)：大阪府大阪市西区阿波座 1-9-9

福岡(営)：福岡県福岡市博多区豊 1-5-24 丸信ビル 108

201812